



支部理事長連絡会議が開催される

～二〇二六年度北海道大会の 日程調整終了～

令和七年十一月十六日（日）に道立北海道体育センター（札幌市）において「支部理事長連絡会議」が、全道二十五支部の理事長が参集し開催されました。

開会に先駆け、去る八月に徳島県で開催された、阿波踊りカップ全国学童軟式野球大会二〇二五において北海道代表として参加した留萌JBCが、見事三位という優秀な成績を収められたので道連より表彰を行いました。チームを代表して永田勇監督と永田隼翔主将が出席され、本間会長から賞状と記念品が授与されました。

引き続き会議が開かれ、報告事項やその他案件につきましては以下の

道連会報

2025年度 後期号
2025.12.25
第88号
発行所
(一社)北海道軟式野球連盟
札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号
発行者 鎌田英暢
編集者 総務部
印刷所 岩橋印刷株式会社

通りで、支部理事長の慎重審議により、全案件すべて了承されました。

○報告事項

- ・次期（二〇二六・二〇二七年）役員選考状況について

- ・北海道大会等の総括について
- ・二〇二五年度一般会計予算の決算見込みについて

- ・規程類の改正について
- ・（公財）全日本軟式野球連盟

- ・二〇二五年度功労者表彰候補者の推薦について
- ・北海道軟式野球連盟表彰規程に関わる二〇二五年度功績賞等の推薦について

- ・二〇二五年度事業実施状況（中間報告）について
- ・各部事業実施状況（中間報告）について

- ・二〇二五年度全軟連登録会員（チーム・個人について）

○その他

- ・二〇二六年度北海道大会日程について

- ・北海道軟式野球連盟八十年記念誌編集について

- ・中学校部活動地域展開に関する現状調査について

- ・二〇二五年国際支援活動への協力について

力について

・全軟連北海道ブロック記録員・放送員講習会総括について

・ホームページの見直しについて

・打順表の見直しについて

◆お知らせ◆

☆ 「2026年度定時社員総会（評議員会）」の開催予定

日 時：令和8年3月7日（土） 午後2時（予定）

場 所：ホテルノースシティ 2階「金柔」

札幌市中央区南9条西1丁目

地下鉄南北線「中島公園」駅下車

（1番出口徒歩5分）

記録員講習会に参加して

全軟連主催の記録員講習会が、旭川市において十月十一日、十二日の土・日に開催されました。放送の部、記録の部に分かれて行われ、初日は旭川トーヨーホテルで座学、翌日は旭川東光スポーツ公園ドリームスタジアムにおいて、実際の試合に合わせての実技講習がありました。



全員そろって記念撮影

氏と日本野球機構（NPB）の山本氏が来道されて講師となり、中身の濃い講習でありました。因みにスクアブックの記入の仕方には、「早稲田式」と「慶應式」があり、普段私

が今まで飛球を落球した場合は、ほぼ失策をつけていましたが、風、太陽、守備位置などの条件が加味さ

れることなど、基本がおろそかにならないように指摘を受けました。

初日の座学で習ったケースが奇しくも実技講習でたびたび再現されることもあり、記録会場は、大いに盛り上がりを見せました。

インプレーの間は最後までボールを追うこと、ボールの行方を声に出すことなどの、基本がおろそかにならないよう指摘を受けました。

十日までの二日間にわたり、全日本軟式野球連盟主催の放送・記録員研修会が、旭川トーヨーホテルおよび旭川ドリームスタジアムにて開催され、参加させていただきました。球場アナウンス技術の向上を目的とした本研修は、非常に学びの多い二日間となりました。

特に、インプレーを妨げないアナウンスのタイミングや、守備変更を迅速かつ正確に伝える技術は、今後の実践で最も活かしたい点です。旭川ドリームスタジアムでのマンツーマン指導は非常に貴重で、自己流の癖を直し、声の出し方や間の取

れ、完全な捕球体制に入っていたか否かで、安打か失策を判断する。

また、野手の失策があり、スリーバウトの機会があつたにもかかわらず、得点があつた場合は自責点にならない。走者三塁でゴロ失策の場合、打球に対して走者がスタートを切っていたかどうかで、打点がつくつかないなど、奥が深く、時間が経つののがアツという間の二日間で、受

放送員研修会に参加して

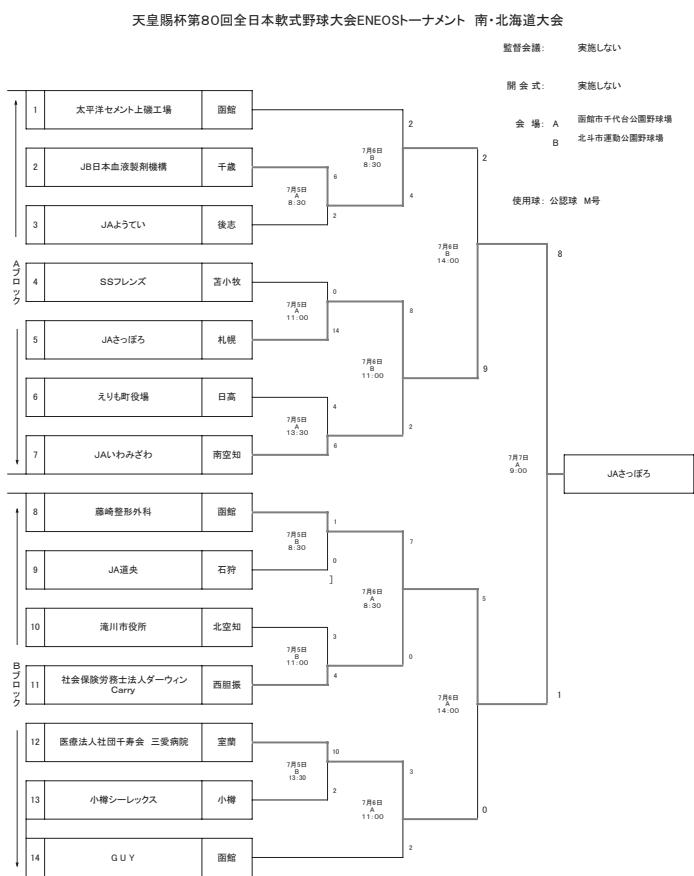
たり、旭川支部リポーター日向透（旭川支部リポーター日向透）

講者からは「記録が楽しくなった」「もっと記録を突き詰めたい」など、今講習会の成果と思われる言葉が飛び出し、今後は全国各地で大きな輪になることが期待できそうです。

受講者全員が充実感に浸り、爽やかな疲労感と共に帰路についた二日間でした。

（旭川支部リポーター鈴木ひろみ）

2025 北海道大会熱戦譜



監督会議: 実施しない
開会式: 実施しない
会場: A 函館市千代台公園野球場
B 北斗市運動公園野球場
使用球: 公認球 M号

Aさっぽろ、準優勝は藤崎整形外科で得点結果は八対一でした。試合内JAさっぽろが圧倒し、当支部代表の藤崎整形外科を破りました。藤崎

本大会は七月五日から三日間、函館支部で開催されました。優勝はJAさっぽろ、準優勝は藤崎整形外科で得点結果は八対一でした。試合内JAさっぽろが圧倒し、当支部代表の藤崎整形外科を破りました。藤崎

整形外科も、頑張りを見せましたが残念な結果に終わりました。

支部トピックスとしては、全道

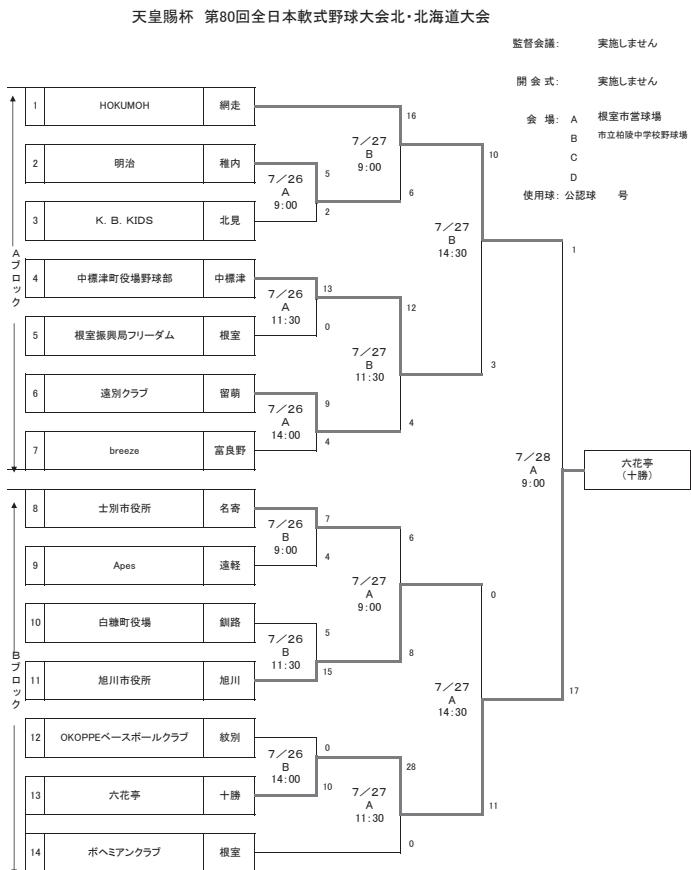
大会でも使用している北斗球場が、今年全照明をLEDに変更しました。選手からは、とても明るくなつたという声を聞いております。よう

天皇賜杯第八十回全日本軟式野球 ENEOSトーナメント南・北海道大会

やく今年は、審判員が一名入部しましたが、あと二～三名欲しいところです。去年は中学校の冠大会を誘致したところですが、あと一大会くらいは誘致したいと思っているところです。（函館支部 関口）



天皇賜杯第八十回全日本軟式野球 ENEOSトーナメント北・北海道大会



本大会は、七月二十六日から三日間、根室市営球場・市立柏陵中学校野球場を会場に、支部予選を勝ち抜いた十三チームに根室支部推薦のチームを加えた計十四チームの参加により開催されました。

雨による中断を余儀なくされる試

合があつたものの、全国大会を目指し連日熱戦が繰り広げられました。大会を制した十勝支部代表の「六花亭」は決勝を含む全試合コールド勝ちの圧倒的な力をを見せつけ、見事八連覇を達成しました。

改めて、本大会に出場した各支部

お疲れ様でした。

本大会の開催にあたり、ご尽力いたきました道連役員並びに審判員の派遣等ご協力をいただいた各支部関係者、そして大会運営スタッフの皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。
(根室支部 鵜飼)

高松宮賜杯第六十九回全日本軟式野球大会 (一・二部) 南・北海道大会

本大会は、令和七年七月十二日から十四日にかけて一部大会を、七月十九日から二十一日にかけて二部大会を開催しましたが、昨今の役員及び審判員不足から、当支部として初めて2週に分けて南・北海道大会を実施する運びとなりました。一部・二部ともに十二支部代表

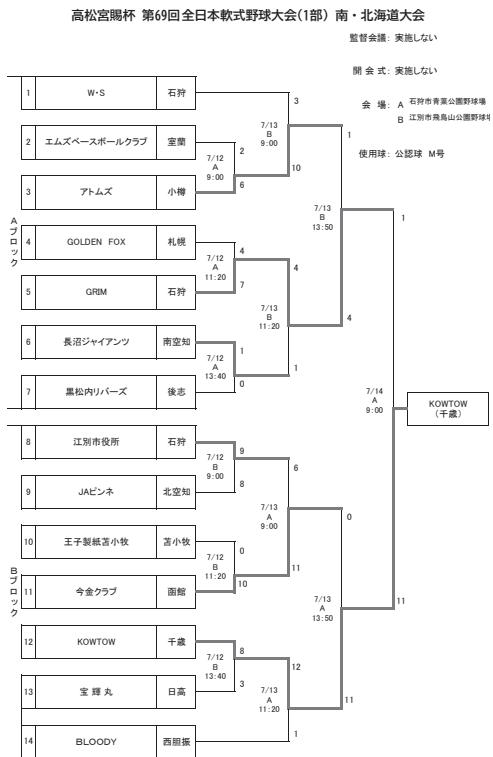
と、開催地(石狩支部)推薦による二チームを加えた十四チームで全大会の開始にあたっては、開催地を代表して、石狩市の加藤龍幸市長が繰り広げられました。大会の開始にあたっては、開催地による始球式が行われ、低めのストレートで空振りを奪う豪快な投球を見せていただきました。



【二部大会】

決勝戦は、昨年度の同大会の準優勝チームである千歳支部「KOWTOW」と、開催地推薦で出場した石狩支部「GRIM」が激突。

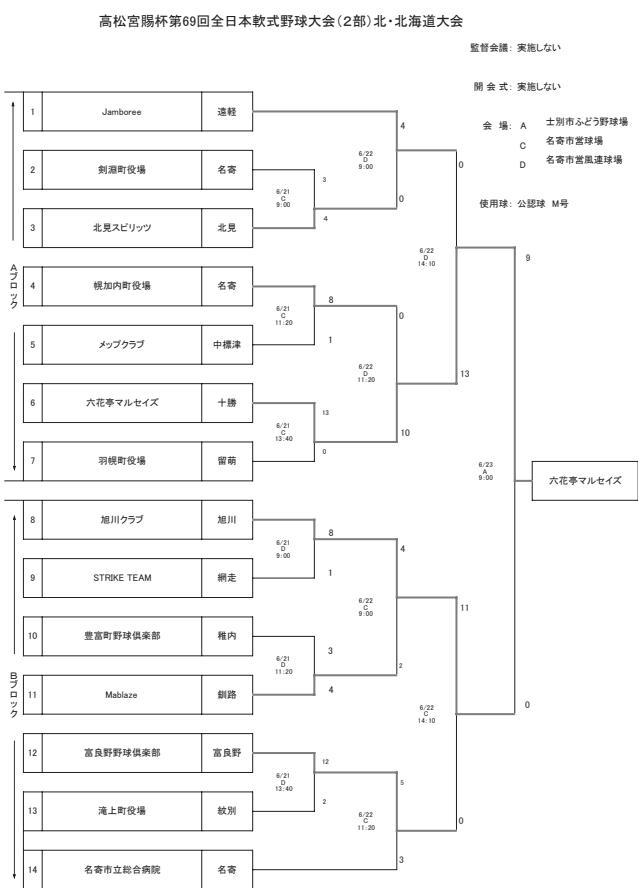
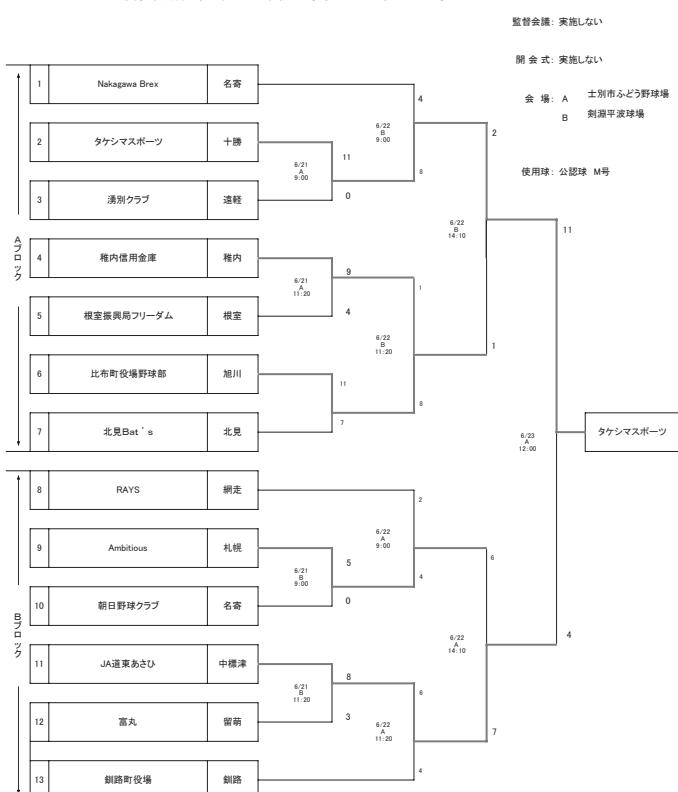
KOWTOWは、決勝戦を含む4試合で計5失点という投手力と堅い守りで、GRIMを1失点に抑えました。また、序盤に一挙8点というビッグイニングを作ったことで、試合を終始優位に進め、昨年は手が届かなかつた全国大会出場の権利を勝ち取りました。



高松宮賜杯第六十九回全日本軟式野球大会 (一・二部) 北・北海道大会

本大会は、六月二十一日から六月二十三日までの三日間の日程で、士別市ふどう野球場、名寄市営球場、名寄市営風連球場、剣淵平波球場の四会場において、一部十三チーム、二部十四チームの計二十七チームが出場し、全国大会を目指して熱戦を繰り広げました。

大会初日は試合を進めることができましたが、初日の夜から二日目の早朝まで雨に見舞われ、二日目の試合時間も二時間遅らせ、十一時からの試合開始とし七回戦で実施することとなりました。その甲斐あって何とか最終日に決勝を行うことができました。



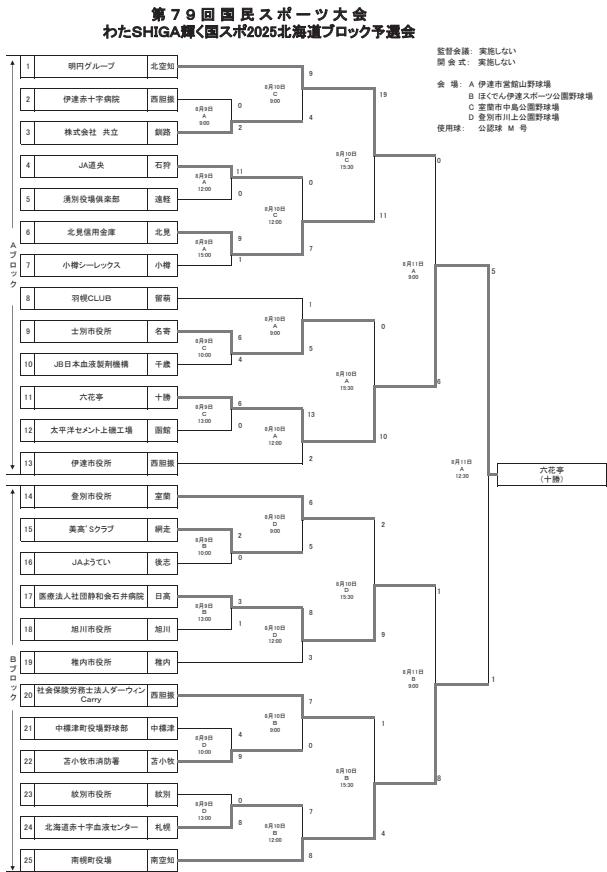
変則的な大会運営を余儀なくされましたが、一部はタケシマスポーツ（十勝支部）とJA道東あさひ（中標津支部）の決勝となり、初回にタケシマスポーツが一点を先制し、二回と四回にはJA道東あさひが二点ずつ得点し逆転しますが、その後、タケシマスポーツが五回に四点、七回に六点を追加し、十一対四で優勝しました。

二部は六花亭マルセイズ（十勝支部）と旭川クラブ（旭川支部）の決勝となり、六花亭マルセイズが二回に一点を先制し、その後も順調に得点を重ね、九対〇で優勝しました。

最後になりましたが、変則的な大会運営の中、道連役員をはじめ、旭川、稚内、留萌、富良野支部からの交流派遣審判員、地元審判員や会場運営担当者など多くの方々から臨機応変な対応をいただき、無事に大会を終えることができました。ご協力をおいたきました皆さまに心より感謝を申し上げます。

（名寄支部 外山）

第七十九回国民スポーツ大会わたSHIGA輝く国スポ2025北海道ブロック予選会 北海道ブロック予選会・令和七年度北海道体育大会



本大会は、八月九日から三日間、伊達市の館山野球場とほくでん公園野球場、それから室蘭支部の室蘭中島公園野球場と登別川上公園野球場の四会場に各支部の代表二十五チームが参加、全国大会出場を目指して熱戦が繰り広げられました。

当支部での国スポーツ大会の開催は、平成七年の国体壮年の部大会以来二十九年ぶりであります。この大会の前身である国体成年の部大会となると、昭和六十三年以来三十六年ぶりの開催となりました。この時季の北海道も猛暑がありましたが、運営会議は、この大会運営とともに、昭和六十三年以来三十六年ぶりの開催となりました。

この時季の北海道も猛暑がありました。この時季の北海道も猛暑がありましたが、運営会議は、この大会運営とともに、昭和六十三年以来三十六年ぶりの開催となりました。この時季の北海道も猛暑がありましたが、運営会議は、この大会運営とともに、昭和六十三年以来三十六年ぶりの開催となりました。

試合の方は、序盤を優勢に進めていた「南幌町役場」が五回表にソロホームランで先制し、さらに一死三塁と攻めたが後続が続かず一点止まり。対する「六花亭」は六回まで一安打に抑えられていたが、七回裏に二塁打四本を含む六安打の猛攻

なことも無く、安堵することとなりました。

さて、大会の方は、前年度優勝の石狩支部「JA道央」が二回戦で敗

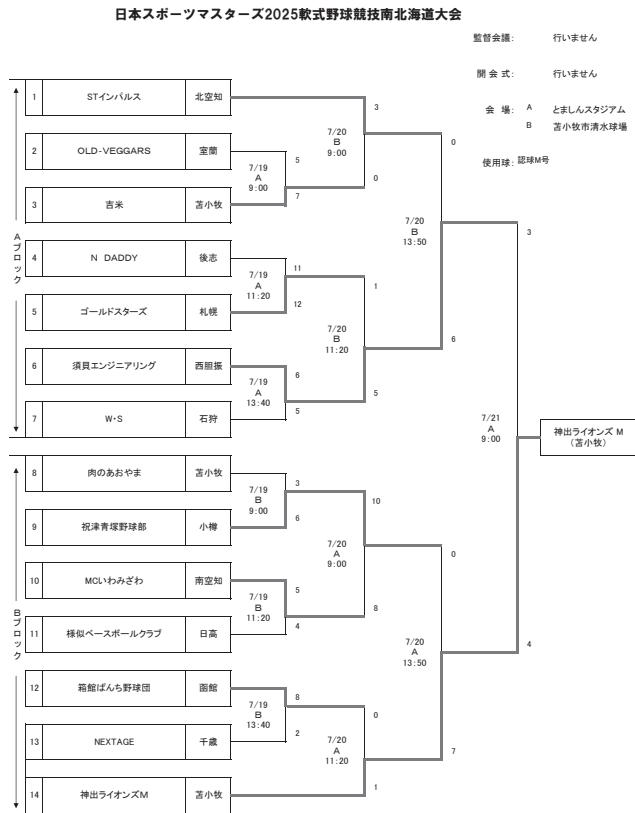
退、決勝戦は順当に勝ち上がった十勝支部「六花亭」と、初戦の延長戦を制した勢いで勝ち上がった南空知支部「南幌町役場」との対戦となりました。

試合の方は、序盤を優勢に進めていた「南幌町役場」が五回表にソロホームランで先制し、さらに一死三塁と攻めたが後続が続かず一点止まり。対する「六花亭」は六回まで一安打に抑えられていたが、七回裏に二塁打四本を含む六安打の猛攻



(西胆振支部 飯尾)

日本スポーツマスターズ二〇一五 軟式野球競技 南・北海道大会



朝方の雨も降り止み、絶好のグラウンドコンディションの中、七月十九日からの三日間、地元推薦を含めた南・北海道各支部の予選を勝ち抜いた十四チームが集結し、全国大会の切符を勝ち取るべく各球場で熱戦が繰り広げられました。

初日から、六試合中三試合が統計差、二試合が三点差以内と接戦が続

き二回戦以降も似たような展開での戦いとなり、見る側としてはゲームセットのコールが掛かるまで目が離せない状況の試合が続きました。

しかしながら準決勝は、一転して点差が開く展開となり、ともに完封勝利で勝ち上がった、地元苦小牧代表「神出ライオンズM」と西胆振代

表「須貝エンジニアリング」が決勝戦に進みました。
決勝も本大会を象徴するような接戦となり、二点を先行した苦小牧が優位に試合を進め、五回まで一人の走者も出さず完璧な投球をしていました。苦小牧佐藤投手が、味方のエラーから初めて出塁を許すと犠打を挟み、三連続二塁打の反撃により、西胆振がワンチャンスをものにして逆転しました。

苦小牧も最終回に粘りを見せ、長

打と敵失で三塁まで進んだ走者をエンドランでホームに迎え入れ、試合は無死一・二塁のタイブレークに入りました。

先行の西胆振は、併殺でチャンスを逃し、苦小牧は確実に犠打で走者を進め、押せ押せムードの中、まさかのワイルドピッチでサヨナラ勝ちとなり、六年ぶり二回目の優勝を果たし、大会の幕を閉じました。

（苦小牧支部 吉田）

日本スポーツマスターズ二〇一五 軟式野球競技北・北海道大会

本大会は、七月十九日から二十一日までの三日間、中標津町営球場・標津町営球場の二会場で開催され、北・北海道各支部から十四チームが集まり、全国大会を目指して熱戦が繰り広げられました。

大会期間中は、初日・二日とともに前夜から朝方にかけて雨が降ったものの、気温が高く、各会場のコンディションに問題がなかつたため、無事に日程どおり試合を消化することができました。

初日から四十歳以上の大会とは思えないほど暑さに負けないハツラツとしたプレーが目立ち、ホームランが何本も飛び出すなど打線が爆発したチームが目立ちました。

決勝戦は、打線好調で勝ち上がった「SフォーワークD21」（北見支部）と、接戦で激戦を勝ち上がった「サージ網走」（網走支部）が対戦。投打で圧倒した「サージ網走」が巧妙な投球術で「SフォーワークD21」の打線を封じ、十九対〇で見事優勝

しました。

本大会は、「年齢を重ねても挑戦できる舞台」であり、技術・経験・仲間との絆が凝縮されたもので、見ている側も「自分もまだ挑戦できる」と勇気をもらえる場だと改めて感じました。

最後に、大会期間中、試合運営に関わった役員の皆様、審判員の皆様など多くの方々にご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。

(中標津支部 橋本)



第四十八回東日本軟式野球大会

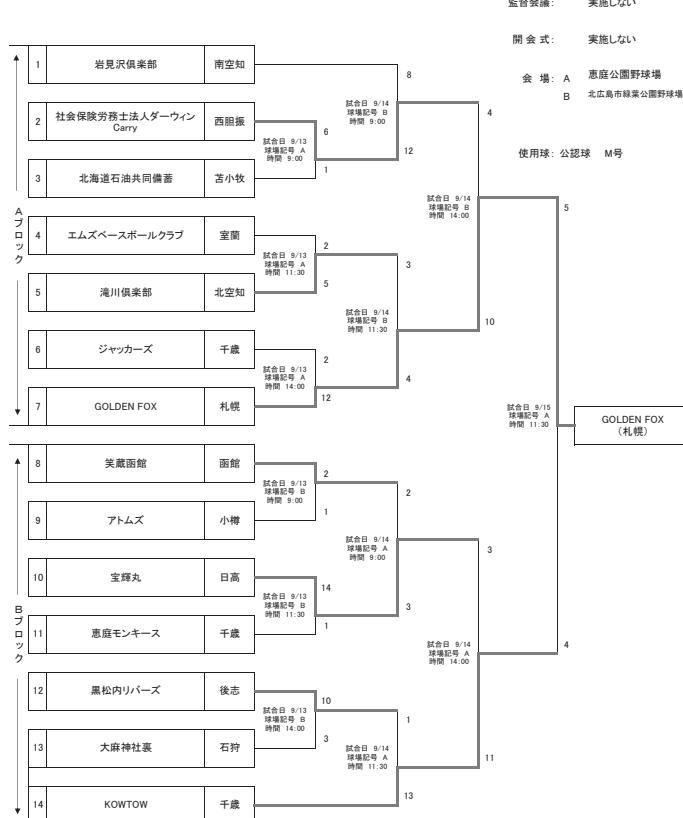
本大会は九月十三日（土）から十五日（月）までの期間で熱戦を繰りのリードを保つて七対三で勝利しました。

り広げました。秋風爽やかな恵庭公園球場において、十五日に東日本一部及び二部の決勝戦が行われました。先に二部の決勝戦、西脇振対千歳の試合が開始となりました。試合は千歳が初回から得点を奪い、札幌はセントラルへのタイム

一部の決勝戦は息詰まる熱戦となり、八回まで一点差で負けていた千歳が九回表に一点を取り、四対四の同点としてタイブレークに突入しました。十回表の千歳は得点を奪えず、札幌はセントラルへのタイム

日本スポーツマスターズ2025 欽式野球競技 北・北海道大会				監督会議:	実施しない
				開会式:	実施しない
				会 場:	A 中標津町営球場 B 標津町営球場
				使用球:	球 M 号
1 稲穂ブルズ	中標津	2			
2 SフォーカD21	北見	9	7月20日 9:00	13	
3 横延球道会	稚内	2	7月19日 A 9:00	18	
4 NMBC	留萌	4	7月19日 A 11:20	7	0
5 フォーティーセブンズMS	富良野	11	7月20日 B 11:20	5	
6 別海フェニックス	中標津	2	7月19日 A 13:40	3	
7 湧別G・P・C	遠軽	10			7月21日 A 9:00 サージ網走(網走)
8 土別市役所クラブ	名寄	2	7月19日 B 9:00	19	
9 奥部クラブ	紋別	3		5	
10 awc釧路	釧路	3	7月20日 A 9:00	18	
11 teamナイン	根室	5	7月19日 B 11:20	19	
12 サージ網走	網走	6	7月20日 A 14:10	19	
13 後楽園マスターズ	十勝	5	7月20日 B 11:20	12	
14 旭川クラブ	旭川	4			

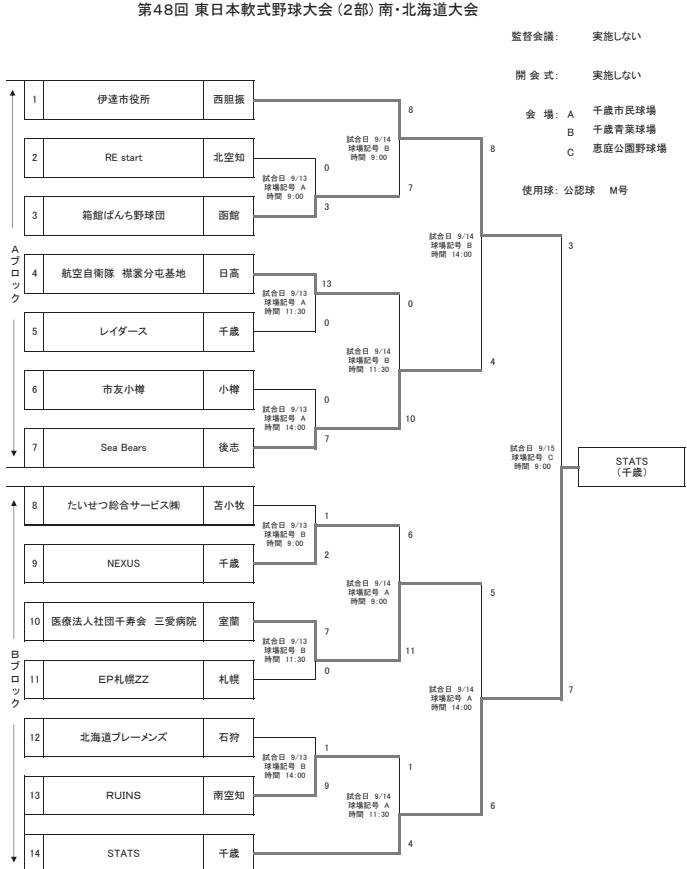
第48回 東日本軟式野球大会（1部）南・北海道大会



リーヒットで一点を奪いサヨナラ勝ちとしました。

この大会は十三日の第一回戦の第三試合目から、大粒の雨が降り出して試合の進行が危ぶまれましたが、全ての会場で無事終了することができました。十四日の試合開始前には、前日の雨でコンディションが不良となつたグラウンド整備を、役員・審判員総出で実施して二日目以降の試合を円滑に行う事が出来ました。

これからも数多くの全道大会が開催されることになりますが、千歳支部のチームのレベルの高さに負けないよう、支部審判員もさらなる審判技術の向上を目指さなければならぬと思わされた大会でありました。
(千歳支部 中石)



第四十八回東日本軟式野球大会 (一部) 北・北海道大会

本大会は令和七年七月三十一日から八月一日、旭川東光ドリーム球場・東光第二球場で行われ、各支部予選を勝ち抜いた十四チームが参加しました。

初日の午前中は降雨に見舞われましたが、大会を通してまずまずの天候に恵まれ、熱戦が繰り広げられました。

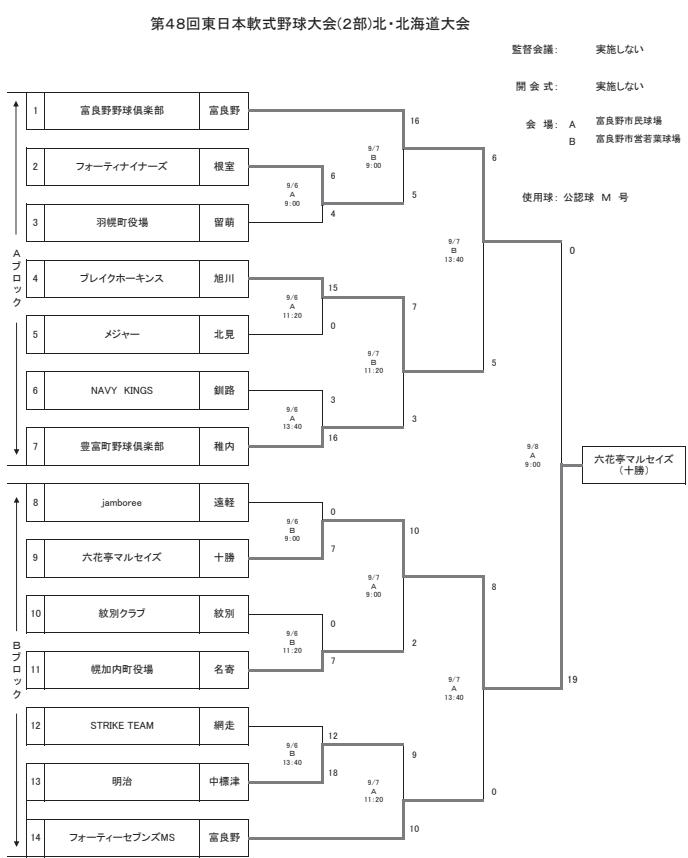
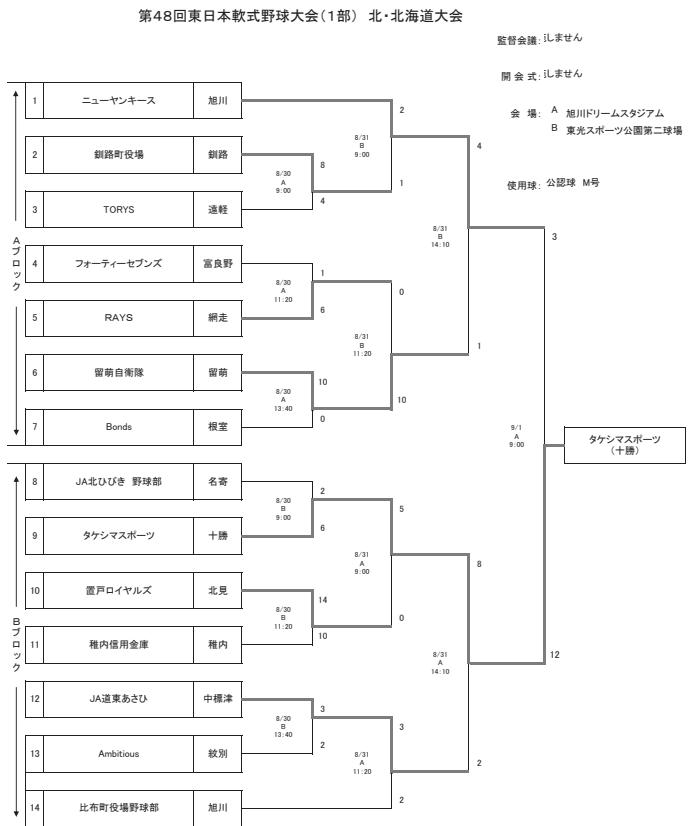
その中から激戦を勝ち抜いて決勝に進出したのは、十勝支部タケシマスポーツと開催地代表ニユーヤンキースでしたが、タケシマスポーツが十二対三で勝利を收め、令和八年六月千葉県で開催される本大会に、北・北海道代表として名乗りを挙げました。タケシマスポーツは、高松宮賜杯一部に引き続き全道制覇の快



挙となりました。投攻守すべてにおいてレベルが高く、本大会でも優勝を狙えるチームと期待します。

大会を通して、各役員・審判員・アナウンサー・記録員・ボールパーソン等、ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。また、人員不足により一人一人の負担が大きかったことをお詫び申し上げます。お陰様で無事大会を終えることが出来ました。

（旭川支部 石突）



去る九月六日（土）から九月八日（月）までの三日間、富良野市の二球場を会場に全十四チームによる本大会を開催いたしました。

大会期間中にあつては、いずれも支部予選を勝ち抜いた強豪チームということもあって一回戦から熱戦が続き、球場運営をお手伝いいた

だいたの方々も試合に見入っていました。その中で、決勝には地元である富良野支部代表の富良野野球倶楽部と、強豪の十勝支部代表の六花亭マルセイズが駒を進めました。試合は初回に六花亭マルセイズが二点を奪い、二回以降も毎回得点の猛攻

第四十八回東日本軟式野球大会 (一部) 北・北海道大会

をみせ、そのまま流れを譲らずゲームセット。十九対〇で十勝支部代表「六花亭マルセイズ」が見事優勝を掴み取りました。

改めまして、大会に出場した各支部代表十四チームの皆様大変お疲れさまでした。

結びに、本大会開催にあたりご尽

力いただいた道連役員並びに大会審判員の皆様、そしてお忙しいところお手伝いいただきました大会運営スタッフの皆様に、役員一同、心より感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(富良野支部 野澤)

第二十五回北海道軟式野球選抜選手権大会

本大会は、八月二十三日～二十五日までの三日間、網走スポーツ

レーニングフィールド野球場をメインに女満別運動公園野球場の二会場で開催し、全道各ブロック代表十二チーム、開催プロツク推薦二チームの計十四チームが参加し、オホーツクブルーの青空の下で熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は「六花亭」（十勝支部）が七対〇で「eco a ハウス」（千歳支部）を下し見事優勝しました。

優勝した六花亭チームは十一月に茨城県水戸市で開催された水戸市長旗第三十三回東日本軟式野球選

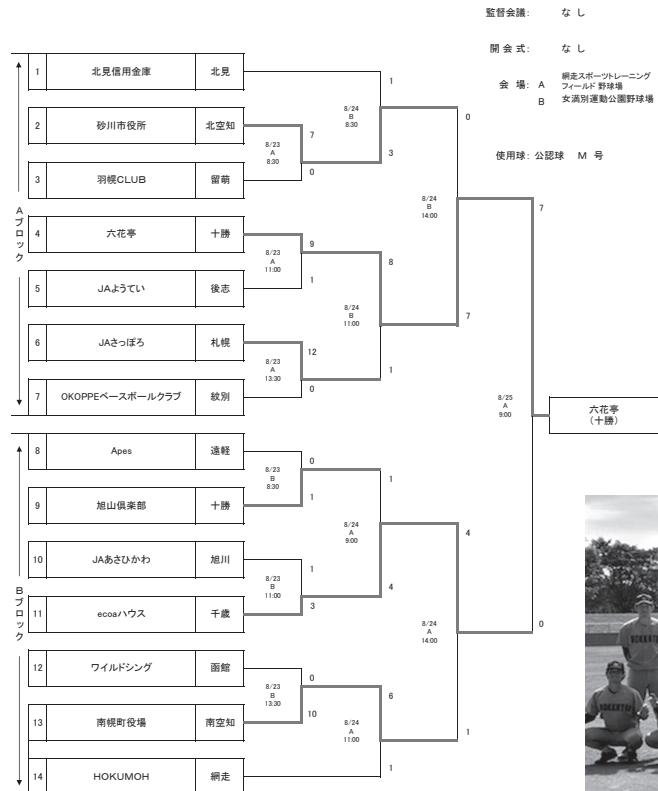
手権大会においても準優勝の好成績を収めました。

本大会は天候にも恵まれ大会運営に関わった役員、審判員、地元チームのご協力に心より感謝とお礼を申し上げます。

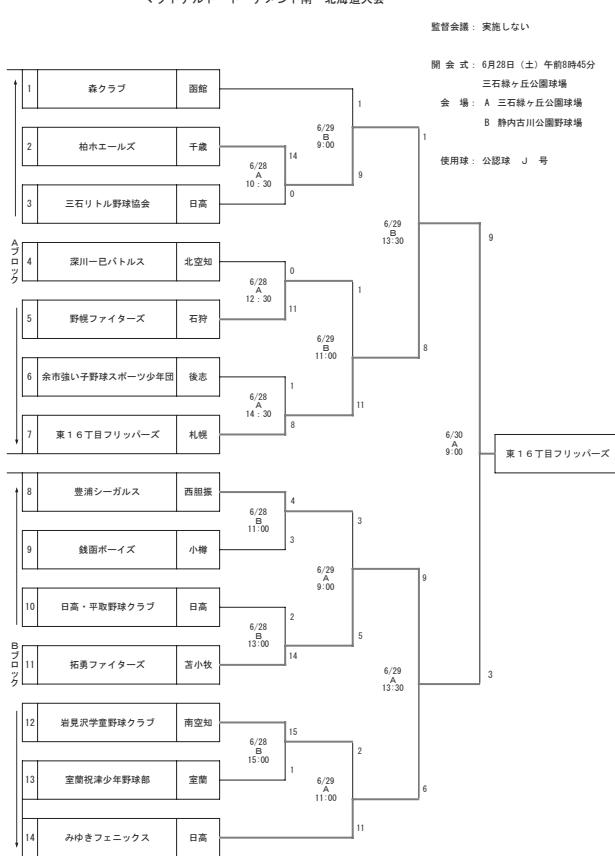
（網走支部 堀田）



北海道知事杯 第25回北海道軟式野球選抜選手権大会



高円宮賜杯第四十五回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント南・北海道大会



日高支部で初めての開催となつた高円宮賜杯は、六月二十八日から三十日の三日間の日程で、三石緑ヶ丘公園球場をメイン会場に静内古川公園野球場で、支部大会を勝ち抜いた十二チームと開催支部推薦の二チームの計十四チーム（二五三名）が、多くの声援を受けながら南・北海道大会の頂点を目指し熱戦を繰り広げました。

大会期間中、一番憂慮していた暑さも（涼夏）日高地方の気候により「熱中症対策」の心配もなく、選手たちの元気・ハツラツなプレーで各試合が展開され、決勝戦は順調に勝ち上がった東16丁目フリッパーズ（札幌支部）と、準決勝でみゆきフェニックス（日高支部）との熱戦を制

した拓勇ファイターズ（苫小牧支部）との対戦となり、総合力に優る札幌支部東16丁目フリッパーズが九対三で勝利し、三年ぶり八度目の優勝を遂げ、全国大会出場権を獲得しました。

大会期間中の天候も、決勝戦終了後に開催された閉会式・メダル授与が終わる後の雨など三日間試合に影響のない状況で大会を終えることができました。

本大会に派遣された道連役員・審判員はじめ、大会期間中、試合運営に携わった地元審判員、開会式の設定・外野フェンスの設置、試合中のグラウンド整備にご尽力いただいた多くの皆さんに、心から感謝とお

本大会は、六月二十八日から六月三十日までの期間、最北の街・国境の街である稚内市大沼球場を主会場として、北・北海道各支部を勝ち抜いた精銳十四チームが熱戦を繰り広げました。

この大会は、当支部では初開催

高円宮賜杯第四十五回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント北・北海道大会

本大会は、二〇二七年までの三年間続けて三十日までの期間、最北の街・国境の街である稚内市大沼球場を主会場として、北・北海道各支部を勝ち抜いた精銳十四チームが熱戦を繰り広げました。

この大会は、当支部では初開催

礼を申し上げます。

（日高支部 中村）

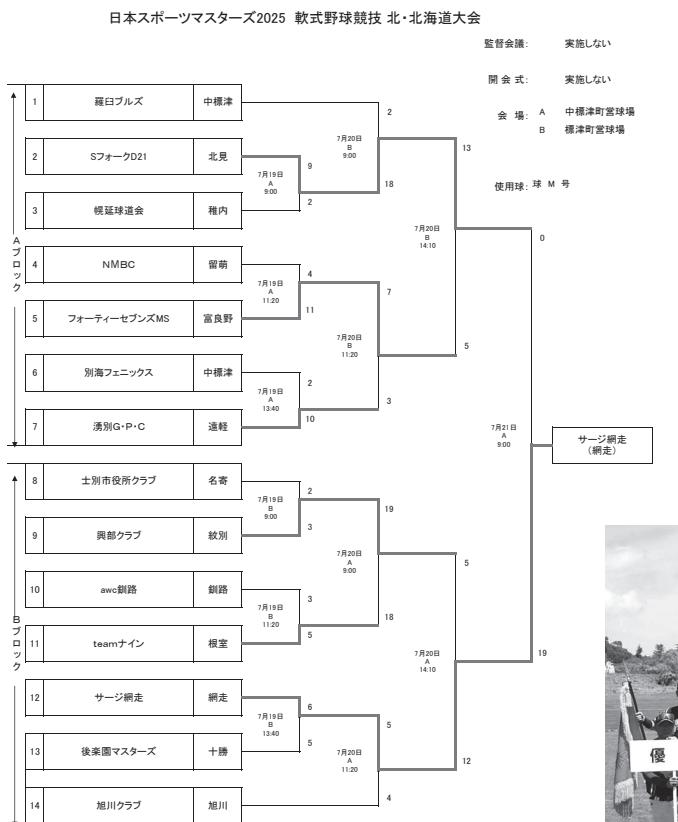


一点を争う好ゲームとなりました。

決勝は、「留萌JCB」と「湧別マリナーズ」の対戦となり、六回戦で決着がつかずタイブレーク方式で「湧別マリナーズ」が制し、全国切符を手にしました。

大会期間中は、天候にも恵まれ、道連、道北プロックから役員・交流審判の派遣をはじめ大会関係者に多大なご支援とご協力をいただき、無事、全日程を終えることができ、厚く感謝申し上げます。

(稚内支部 薄田)



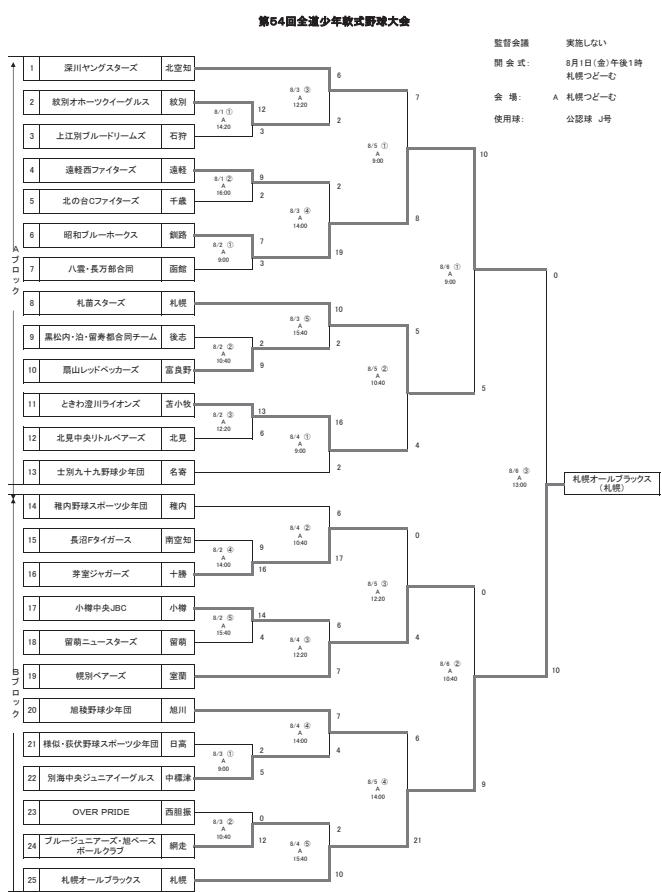
第五十四回全道少年軟式野球大会

本大会は、八月一日から同六日にかけて全天候型球場・札幌コムニティドーム(つどーむ)に、全道の二十四支部を勝ち抜いた代表二十五チームが集い、北海道の頂点を目指して六日間に渡って熱戦を開催しました。

開会式では、支部優勝旗を掲げた

選手たちが次々と大きく腕を振つて元気良く入場行進しました。選手宣誓は札幌支部代表・札幌オールブランクスの奥山夕生(ゆう)主将が力強く宣誓を行いました。

決勝は、釧路支部として三十九年ぶりの優勝を狙う昭和ブルーホークスと、札幌支部の札幌オールブランクス



ラックスが共に初優勝をかけて対戦しました。

札幌オールラックスは、初回から打撃陣が奮起し得点を重ねて投手陣を援護、投手陣も昭和ブルーホークス打線を一安打に抑え込み十対〇の大差で初優勝を勝ち取りました。

大会期間中、試合運営に関わった役員・審判団そして加盟チームからの補助員など多くの方々に協力いただきました。心より感謝とお礼を申し上げます。（札幌支部 藤山）



第四十二回全日本少年軟式野球大会 ENEOSトーナメント北海道大会

本大会は、七月十九日から二十一日までの三日間、二十八チームが参加し連日の猛暑のなか、帯広三会場と芽室町営球場の四会場で、全国大

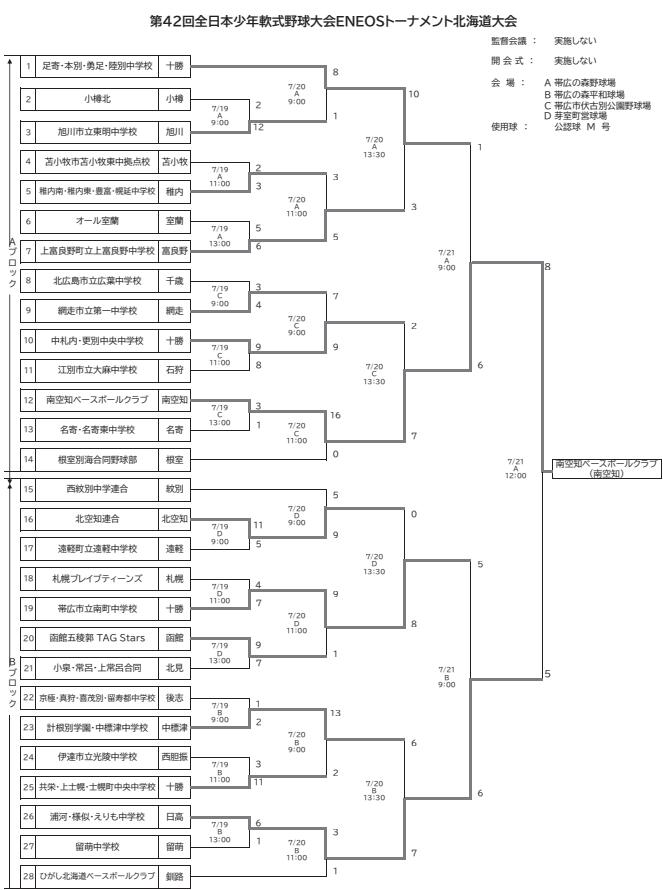
会の横浜球場を目指して連日熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は、南空知ベースボール

クラブ（南空知）と、浦河・様似・

えりも中学校（日高）の対戦となり、南空知ベースボールクラブが八対五で優勝し、猛暑の中の大会を締めくくりました。

各チームとも礼儀正しく、中学生らしい元気な試合を展開し、応援の保護者の方々も盛り上がり、負けても帰りに選手と一緒に十勝の美味



しいものを食べて帰ることで
した。

今年は六月からの例年ない暑
さの中、大会を無事終了できました

のも、道連役員をはじめ、大会関係
者・審判員、また応援して下さった
方々に心から感謝とお礼を申し上
げます。 (十勝支部 小川)

文部科学大臣杯第十七回全日本少年春季軟式野球 ENEOSトーナメント北海道少年軟式野球選抜選手権大会 名鉄観光トーナメント南・北海道大会

本大会は、九月十三日（土）から
十五日（月）までの三日間、滝川市
と深川市を会場に、全十四チームの
参加により開催されました。

今夏も残暑厳しく、チーム作り
も大変だったと思われますが、大
会を通じての印象としては、通算
百三十一得点というデータが示す
ように、得点シーンの多さが目立ち
ました。

特に決勝戦は、共に攻撃力に特徴
をもつ二チームの対戦となり、勝ち
上がる度に勢いを増す「函館市立桔
梗中学校」が序盤の猛攻で五得点、
試合を終盤まで支配しましたが、前
回王者「TTBC」が驚異の粘りを
発揮、最終回に七得点する逆転勝利
で二連覇を成し遂げる劇的な幕切れ
で、深紅の優勝旗を掴み取りました。

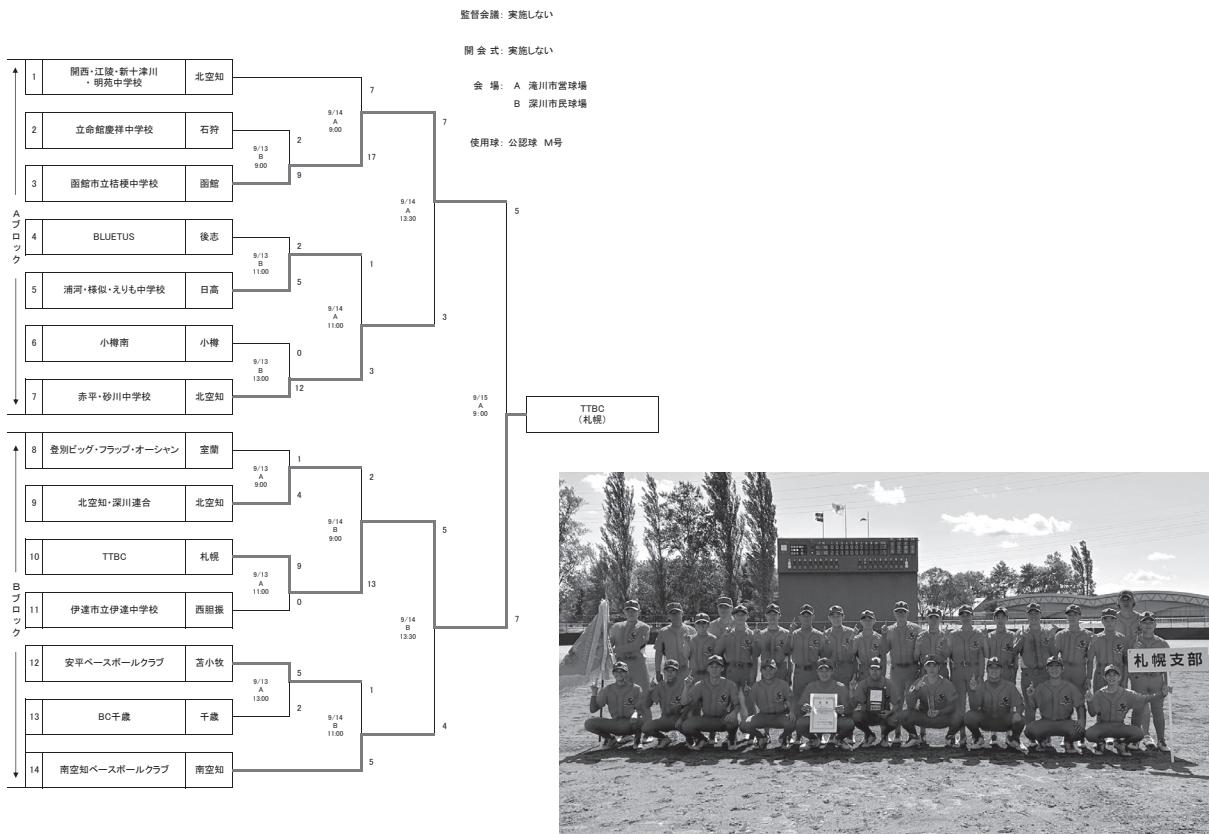
結果、「TTBC」は来春三月に
岡山県で行われる全国大会への切
符を見事勝ち取りましたが、前回成
し遂げられなかつた全国八強の壁
を是非とも乗り越えていただきた
いと、関係者一同期待しているとこ
ろです。

これにより、当支部においては全
道規模の二大会を二週にわたつて
無事終了させることができました。

これもひとえに、道軟連役員のご
指導のもと、広くは道央南ブロック
派遣審判員の皆様のお力添え、そし
て日頃から志を同じくする我が北
空知支部関係者一同の尽力による
ものと自負しているところです。

最後に、すべての関係者の皆様に
感謝の意を表して報告とさせてい
ただきます。 (北空知支部 渡辺)

文部科学大臣杯 第17回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSトーナメント
北海道少年軟式野球選抜選手権大会名鉄観光トーナメント 南・北海道大会



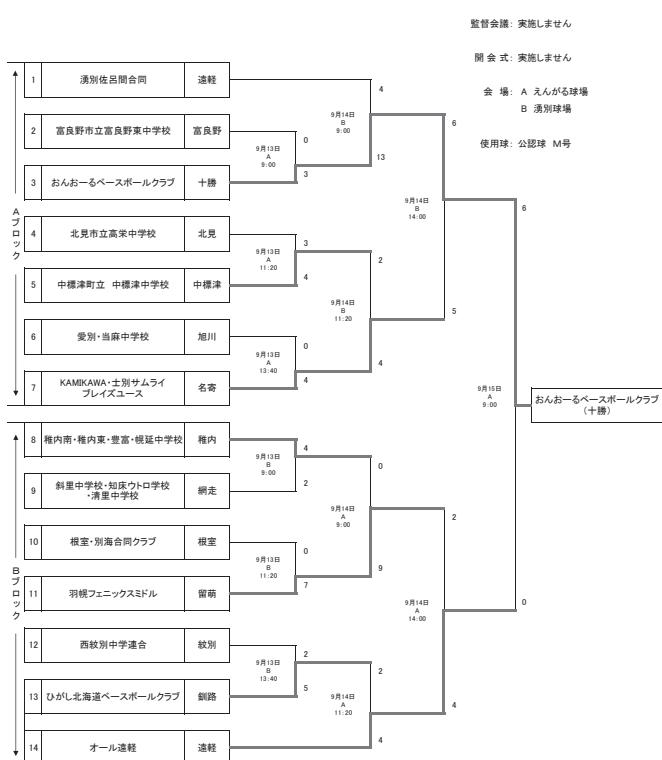
**文部科学大臣杯第十七回全日本少年春季軟式野球
ENEOSトーナメント北海道少年軟式野球選抜選手権大会
名鉄観光トーナメント北・北海道大会**

本大会は、九月十三日（土）から十五日（月）の三日間の日程で、えんがる球場・湧別球場の二会場で、全国大会を目指して熱戦が繰り広げられました。

十三日は、前日からの雨の影響でえんがる球場ではスタッフで水抜きを行い一時間程度試合開始が遅れました。

れましたが、各支部を勝ち抜いた十四チームの代表が集い、試合は大差での勝利が三試合、二点差以内が六試合あり手に汗を握る試合展開となりました。大会も日程通り無事終えることが出来ました。

優勝は、一回戦・準決勝の接戦で勝ち上がってきた「おんおーるべー



「スボールクラブ」（十勝支部）が、「オール遠軽」（遠軽支部）に六対〇で勝利し代表権を獲得しました。
(遠軽支部 市原)

**NPBガールズトーナメント
第十回全日本中学女子軟式野球大会
(SPトーナメント) 北海道大会**

今シーズンは、NPBガールズトーナメント二〇二五（帯広の森平和球場）と、第十回全日本中学女子軟式野球大会（帯広伏古別公園野球場）が六月二十一日と二十二日の二日間で開催されました。

NPBガールズトーナメント

二〇二五は、六支部の参加で行われ、決勝戦は空知ブルームス（北空知）とオホーツクブルーエンジエルス（北見支部）の対戦となり、十七対九でオホーツクブルーエンジエルスが初優勝しました。

第十回全日本中学女子軟式野球

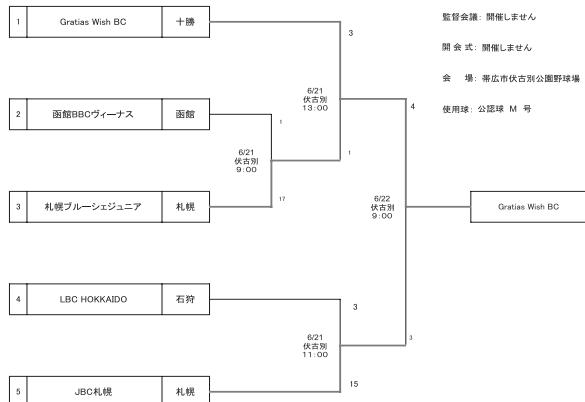


大会は、五支部の参加となり、決勝戦はGratia's Wish BC（十勝支部）と、JBC札幌（札幌支部）の対戦となり、四対三でGratia's Wish BCが初優勝しました。

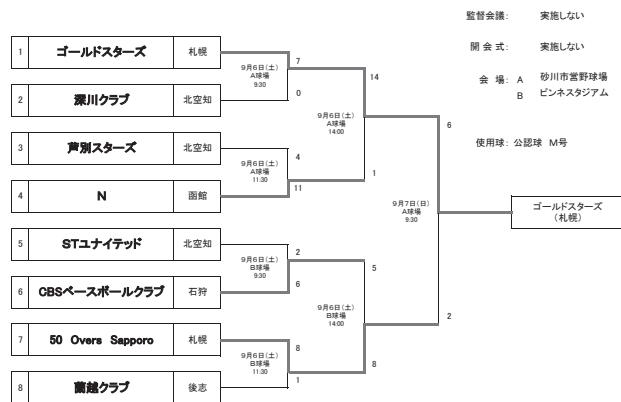
両大会とともに、初優勝チームということで、小学生、中学生とともに、女子野球の広がりを感じる大会になりました。（十勝支部 小川）



第10回全日本中学女子軟式野球大会(SPトーナメント) 北海道大会



第9回全日本シニア軟式野球南・北海道大会



第九回全日本シニア軟式野球 南・北海道大会

本大会は、令和元年の第三回大会より札幌支部で開催されておりましたが、今年度より三ヶ年ごとの南・北海道各ブロックの持ち回り開催となり、今年度から令和九年度までの三ヶ年は、北空知支部で開催いたします。

今年度は、九月六日（土）・七日（日）の二日間、砂川市の砂川市営野球場、新十津川町のピンネスタジアム

で道央、道南、道央南ブロックからそれぞれ二チーム、前年度優勝チーム、開催地推薦チームを加えた計八チームにより二つの全国大会出場権を目指して熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は、二年連続で札幌支部同士の戦いとなりましたが、「ゴールドスターズ」が「50 Overs

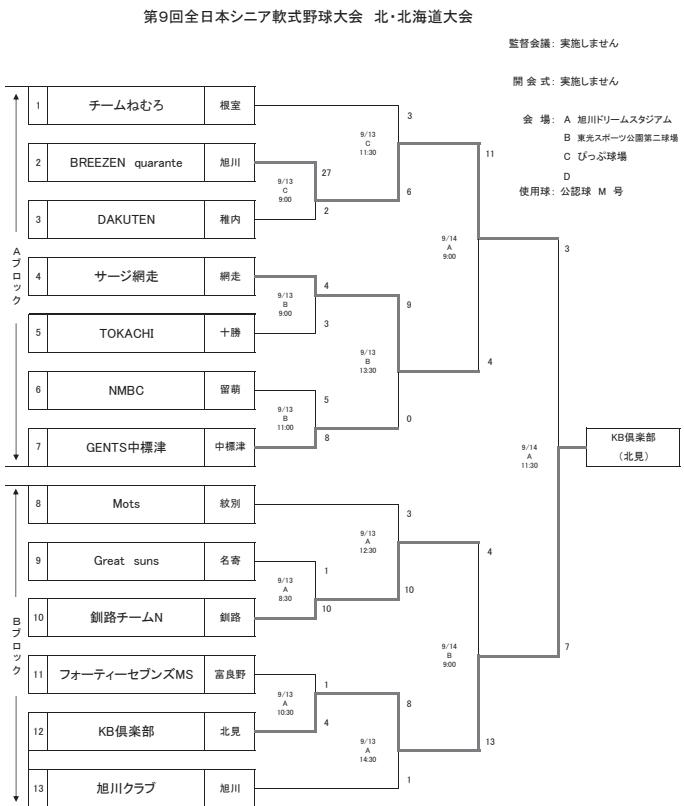
Sapporo」に六対二で勝利し、見事「四連覇」を達成しました。今大会は、北空知支部で初めて開催いたしましたが、大会二日目の朝から雨にも負けず、試合開始時には絶好のコンディションとなり、

無事終了することができました。

ご支援をいただきました札幌支部、大会運営に関わった道連、支部役員、審判団、チーム関係者などの皆様に感謝とお礼を申し上げます。

(北空知支部 森田)

第九回全日本シニア軟式野球 北・北海道大会



ここ数年では一番の参加チーム数となり、五十歳以上の選手で構成された本大会は、両日ともダブルヘッダーという非常にハードな日程の中、選手たちは年齢を感じさせない素晴らしいプレーで最後まで見応えのある試合を繰り広げました。

決勝戦は北見支部代表の「KB俱楽部」と地元代表の「B R E E Z E N q u a r a n t e」との対戦となりました。三回終了までは僅差の戦いでしたが、四回表の「KB俱楽部」の四得点を皮切りに試合が大きく動き、「KB俱楽部」は二日間で四試合という激戦を見事制し、二年ぶり二回目の優勝を飾り、来年五月に埼玉県で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

最後になりますが、大会期間中、大会運営に関わった役員の皆様、各支部からの交流審判員の皆様、地元

本大会は、九月十三日、十四日の二日間にわたり、北・北海道各支部の代表十三チームが参加し、旭川ドリームスタジアム、東光スポーツ公園第二球場、ひつぶ球場において、全国大会出場を目指し、熱い試合が展開されました。

ここ数年では一番の参加チーム数となり、五十歳以上の選手で構成された本大会は、両日ともダブルヘッダーという非常にハードな日程の中、選手たちは年齢を感じさせない素晴らしいプレーで最後まで見応えのある試合を繰り広げました。

運営スタッフの皆様には少ない人数での大会運営となり、大変ご迷惑をお掛けしましたが、多大なるご協力により無事に大会を終えることができました。心より感謝とお礼を申し上げます。(旭川支部 山口)



支部トピックス

千歳支部便り

千歳支部の今年度最後の野球大会も十月の最終日曜日に終了しました。

これからシーザンオフの間に、来年度の審判講習会まで各人それぞれに、今年一年間の審判支援で蓄積した疲労の回復に努めたり、規則書等を読み返したりして来年度の準備を進める必要がある期間と



公認試験会場

なります。

さて千歳支部では、十一月二日（日）に公認審判員試験（二級・二級）を実施しました。一級受験者は千歳連盟二名、恵庭連盟一名、北広島連盟四名の計四名、二級受験者は千歳連盟五名、恵庭連盟一名、北広島連盟四名の計十名となり、総数十四名の受験者数となりました。受験前の

十月二十八日（火）十月三十日（木）の二日間、千歳市西庁舎会議室にて菊地技術員指導の事前勉強会を実施して、受験本番対策に万全を期しました。試験当日は菊地技術員の統制の下、北広島の佐々木審判部長と

来年度から技術員となる田島審判員の立会で行われました。

合格発表はまだ先ですが、受験者全員合格して支部審判活動に寄与することを期待したいところです。

十一月八日（土）には支部審判部懇親会を行いました。会は千歳連盟会長である太田支部長の挨拶の後、菊地支部審判部長の乾杯の音頭で宴が始まりました。途中ベストアンパイアへの記念品の授与や、支部大会参加回数一位の審判員への記念品の授与が行われ、宴も大いに盛り上がった後に、評議員の鳴海審判員

花川中学校の野球部のご協力により、高松宮賜杯（一・二部）南北海道大会前に開催することができます。

また。

準備体操の後、基本的なコール練習とゴー・ストップ・コールを行い、その後、各壘の説明を行いました。

今年度の指導事項である、スタートイングポジションについて、ひざ下のライナーの捕球を、一步前に踏み出して見られる位置を基本に、野手に近づくことを意識するよう説明しました。また、その場合において、特に一塁審のフォースプレイを見る位置が、ベースから近くなり過ぎないよう注意が必要である点などについても説明を行いました。

その後に行つたキャンプゲームでは、基本的なローテーションができているかどうかを改めて確認するとともに、今年度開催される北海道大会に向けて指導を行いました。

参加審判員は、それぞれが課題を持ち、そこを意識した中で講習会に取り組む姿勢が感じられ、成果が見られる場面が多くあつたので、審判員それぞれに実りのある講習会になつたのではないかと感じました。

今年は、石狩市立樽川中学校と同



懇親会集合写真

石狩支部

石狩支部審判講習会を開催しました！

（千歳支部 中石）

六月二十一日（土）に石狩市樽川公園野球場にて、当支部審判講習会を開催しました。

今年は、石狩市立樽川中学校と同

自分も含め、この講習会で改めて

感じた良かった点と反省すべき点を、しっかりと振り返り、来る北海道大会の場で活かしていき、大会をトラブルなく過ごせるようにしたいと思います。

最後に、今回の講習会を開催するにあたり、貴重なお時間をいただき、審判員の技術向上に多大なるご協力をいただいた石狩市立樽川中学校、同花川中学校両野球部の皆さんに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(石狩支部 高田)

道北ブロック秋季審判研修会

令和七年度道北ブロック秋季審判修会が、十月二十五日に旭川市内のホテルを会場に開催されました。道北五支部から審判部長・技術員の他、支部審判員など含め三十名ほどが集まり、今年度の大会での反省や報告を各支部技術員から報告されました。大会で起きた事例を映像や図を用いながら解説し、参加者全員で討議しました。各支部の報告の最後に菅野指導員から、アドバイ

スや規則適用の確認が行われ、来季に向けての課題の確認や認識の統一が出来ました。

来たる令和八年には全日本北海道ブロック審判講習会、翌年の令和九年には東日本（一部）全国大会が旭川支部で控えています。今回の研修会で得た知識や反省を踏まえ、支部審判員へしっかりと伝え、支部そして道北ブロック全体の審判員のスキルアップに繋がれば幸いです。

(旭川支部 大岩)

スポーツ検診の成果

旭川軟式野球連盟の今年の大会は、天候に左右されながらも計画通りにすべての大会を終了する事が出来ました。

大会終了後は毎年行われている少年団を対象に、連盟加盟登録されている選手の肘検診及びファイジカル検診をスポーツドクター、理学療法士の協力をいただき、十一月八日と九日にスポーツ検診を実施いたしました。

スポーツ検診は野球肘等の障害を発症せず、楽しく野球を続けて欲しく実施しております。



今年は四〇三名が受診を予定していましたが、インフルエンザ等で三五一名の受診となりました。

そのうち二名に異常が見られ、専門病院での再検査となりました。早期発見が野球人生を長くすることになつているとの声もあります。

一試合の投球制限がありますが、

チーム事情によつては休養を取ることが出来ない状況であるとのことでした。

当連盟では、野球シーズン前の二月に全チームの監督・指導者を対象に、大会運営事項のマナー・ルール

及び指導者の倫理の説明会を行つております。その中でもスポーツ検診実施報告を行い、肘の異常者を出さないように、今後も正しい野球の普及及び発展を目指して、適切な指導を通じ選手の健全な育成を行つて、選手の事を第一と考えて運営に当たつて行きます。

(旭川支部 三島)

各部近況報告

育成強化部

第七十九回国民スポーツ大会 軟式野球競技 (わたSHIGA輝く国スポ2025) 北海道代表「六花亭」

初戦突破

十月四日（土）から七日（日）ま

での四日間、滋賀県東近江市の「東近江市ひばり公園湖東スタジアム」をメイン会場に、第七十九回国民スポーツ大会軟式野球競技が盛大に開催されました。

北海道代表「六花亭」の十月四日の一回戦は、守山市の守山市民球場の第三試合で行われる予定でしたが、朝からの激しい雨と風によりグラウンドコンディションが悪く、甲賀市の甲賀市民スタジアムに会場が変更され、一時間四十分遅れで行されました。

「六花亭」は、三回裏に犠牲フライなどで二点を挙げましたが、最終回に一点差にせまられ、なおも二死満塁のピンチとなるものの、このピ

ンチを凌ぎ、二対一で新潟県代表の「北陸ガス株式会社」に見事勝利しました。

十月五日の二回戦は草津市の「草津グリーンスタジアム」で、またもや雨のなかの試合となり、二回に二点本塁打、三回に三点本塁打、五回に無死満塁から走者一掃の二塁打などで四点をあげられ苦しい展開となり、反撃も一点にとどまり、九対一の七回コールドゲームで敗退となりました。

北海道代表としては、「六花亭」が平成二十九年に六位入賞して以来、八年ぶりの初戦勝利となりました。（令和二年・三年は大会開催中止）

また、昨年より北海道代表チームの道外強化試合を東北で開催しておりますが、昨年は強化試合の対戦チームの福島県「株式会社相双リテック」が優勝、山形県「公徳会佐藤病院」が四位、今年度は「六花亭」が初戦突破するなど強化の成果が芽生え始めておりますので、今後ますますの北海道代表の活躍が期待されます。

（育成強化部 森田）

第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ2025)軟式野球競技 組合せ表

会期 ◯2025年10月4日（土）～10月7日（火） 4日間
監督会議 ◯10月3日（金）16:00 クレフィール湖東

※①～④は競技日程
競技第1日 ① ◯10月4日（土） ⇒一部の試合で会場移動があります
競技第2日 ② ◯10月5日（日） ⇒一部の試合で会場移動があります
競技第3日 ③ ◯10月6日（月）
競技第4日 ④ ◯10月7日（火）

A 東近江市ひばり公園湖東スタジアム

B 甲賀市民スタジアム

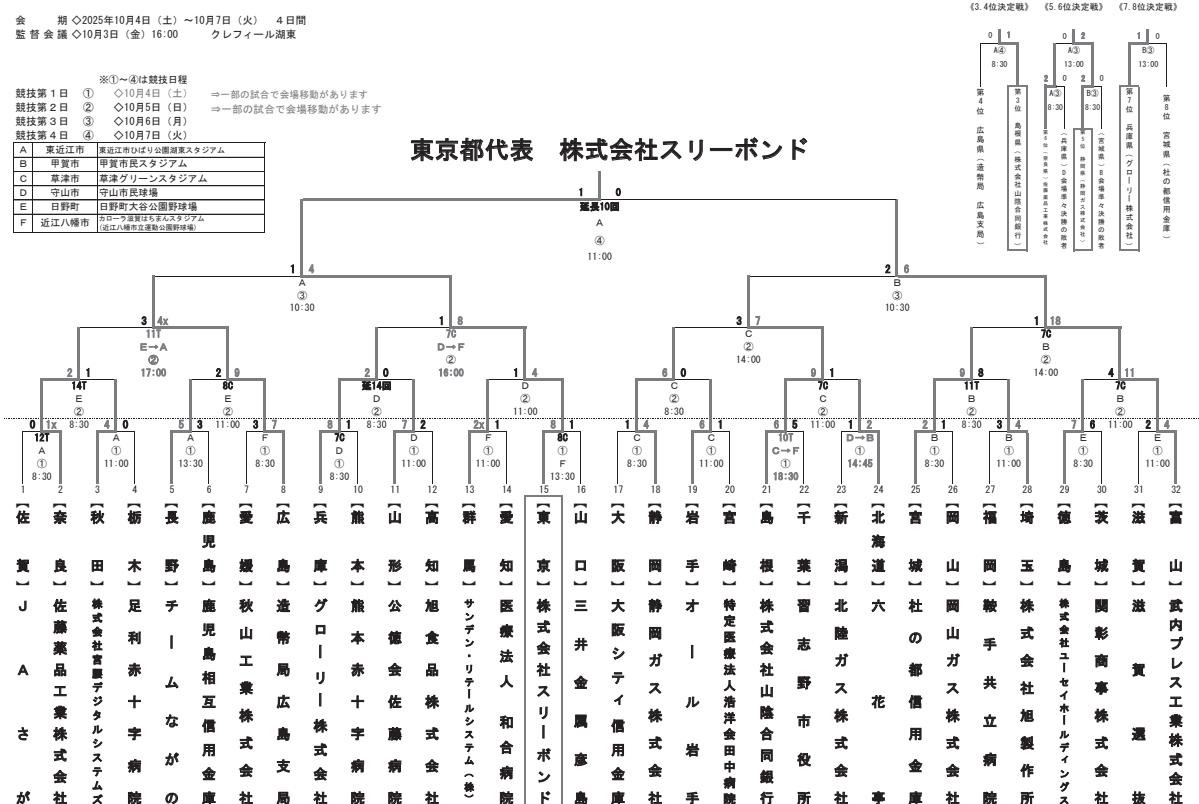
C 草津グリーンスタジアム

D 守山市民球場

E 白野町大谷公園野球場

F 近江八幡市

東京都代表 株式会社スリーボンド





令和七年 お悔やみ

当連盟役員・審判員がご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

二月十四日

五月二十三日
武内 菁爾（南空知支部）

九月十二日
竹村 辰夫（十勝支部）

九月二十四日
永澤 忠（室蘭支部）
金曾 則雄（十勝支部）

編集後記

役員は「志と熱意」を持つべき

役員改選期を迎えるここで立ち止まって考えてみると、組織の中での役員として「志と熱意」を持つことの大切さを再認識いたしました。

一つの志を立て、それを一生つらぬくこともあるでしょう。あるいは人生のその時々にある志を持ち、それを次々と遂げていくこともあるでしょう。それは色々な姿があつていいと思いますが、そういうものを何も持たずして、ただ何となく日々を送るということでは、人生の喜びも生きがいも薄いものになってしまうと思います。

特に、役員が志を持ち、それを人々に訴え、皆が志を同じくして進むというところにおのずと力強い歩みが生まれて参ります。そういうものを持たなくては、皆が進むべき道を見失ってしまうことになります。

抱け

（総務部 竹本）

くのであって、はじめから志を小さくし、目標を低きにおいては叶うことでも叶わなくなってしまいます。だから、現実を見つめつつも、理想を描く姿で大きな志を立てることが大事だと考えます。

次に、熱意こそ物事を成し遂げる一番の要諦だといわれています。何としてもこれをやり遂げようという熱意がある、はじめて知恵も湧き工夫も生まれてくると思われます。特に、役員はこと熱意に関してはだれにも負けないものを持つべきです。是非ともこれをやりたいという強い熱意があれば、それは必ず人を動かすでしょう。そしてその熱意を感じて、知恵ある人は知恵を、才能ある人は才能を、それぞれの人が自分の持てるものを提供してくれるでしょう。

したがって、「志と熱意」を持つ事にあたるべきと考えます。

『北の国から発信をし、大志を

2026年度 北海道大会及び全国大会日程（予定）

(2025. 11. 16現在)

大 会 名		主管 支部	開催地	会 期	締 切	抽 選	全 国 大 会				
							代表チー ム	大会名	会 期	開 催 地	
天皇賜杯 第81回全日本軟式野球大会	南	室 蘭	室蘭市 登別市	7/4(土) ~7/6(月)	6/23 (火)	6/24 (水)	南優勝	天皇賜杯	9/18(金) ~9/23(水)	奈良県	
	北	遠 軽	遠軽町 湧別町	7/4(土) ~7/6(月)	6/23 (火)	6/24 (水)	北優勝				
高松宮賜杯 第70回全日本軟式野球大会 (1部)	南	千 歳	北広島市 恵庭市	7/18(土) ~7/20(月)	7/7 (火)	7/8 (水)	南優勝	高松宮賜杯 (1部)	9/26(土) ~9/28(月)	三重県	
	北	十 勝	帯広市	7/11(土) ~7/13(月)	6/30 (火)	7/1 (水)	北優勝				
高松宮賜杯 第70回全日本軟式野球大会 (2部)	南	千 歳	千歳市	7/18(土) ~7/20(月)	7/7 (火)	7/8 (水)	南優勝	高松宮賜杯 (2部)	9/12(土) ~9/14(月)	山形県	
	北	十 勝	帯広市 芽室町	7/11(土) ~7/13(月)	6/30 (火)	7/1 (水)	北優勝				
第80回国民スポーツ大会 青の煌めきあおもり国スポ2026 北海道ブロック予選会		網 走	網走市 大空町 小清水町	8/1(土) ~8/3(月)	7/21 (火)	7/22 (水)	優勝	1	第80回国スポ	10/11(日) ~10/14(水)	青森県
日本スポーツマスターズ 2026軟式野球競技	南	石 猎	石狩市 江別市	7/25(土) ~7/27(月)	7/14 (火)	7/15 (水)	南優勝	日本スポーツマス ターズ	9/19(金) ~9/21(月)	石川県	
	北	留 萌	留萌市 小平町	7/25(土) ~7/27(月)	7/14 (火)	7/15 (水)	北優勝				
第49回東日本軟式野球 北海道大会(1部)	南	西胆振	伊達市	9/5(土) ~9/7(月)	8/25 (火)	8/26 (水)	南優勝	※ 第48回東日本 (1部)	6/6(土) ~6/8(月)	千葉県	
	北	北 見	北見市	9/12(土) ~9/14(月)	9/1 (火)	9/2 (水)	北優勝				
第49回東日本軟式野球 北海道大会(2部)	南	室 蘭	室蘭市 登別市	9/12(土) ~9/14(月)	9/1 (火)	9/2 (水)	南優勝	※ 第48回東日本 (2部)	5/23(土) ~5/25(月)	岐阜県	
	北	北 見	訓子府町 置戸町	9/12(土) ~9/14(月)	9/1 (火)	9/2 (水)	北優勝				
北海道知事杯 第26回北海道軟式野球選抜選手 権大会		苦 小 牧	苫小牧市	8/29(土) ~8/31(月)	8/18 (火)	8/19 (水)	優勝	1	水戸市長旗東 日本選手権	10/30(金) ~11/3(火)	茨城県
高円宮賜杯 第46回全日本学童軟式野球 大会 マクドナルド・トーナメン ト	南	日 高	新ひだか町	6/20(土) ~6/22(月)	6/9 (火)	5/13 (水)	南優勝	1	高円宮賜杯	8/7(金) ~8/13(木)	愛媛県
	北 稚 内						南準優勝	1	阿波おどりカッ ブ	8/5(水) ~8/9(日)	徳島県
							北優勝	1	高円宮賜杯	8/7(金) ~8/13(木)	愛媛県
							北準優勝	1	高野山旗	未定	和歌山 県
第55回全道少年軟式野球大会		札 幌	札幌市	8/8(土) ~8/13(木)	7/28 (火)	7/1 (水)					
第43回全日本少年軟式野球北海 道大会		紋 別	紋別市 興部町 滝上町 雄武町	7/18(土) ~7/20(月)	7/7 (火)	6/10 (水)	優勝	1	全日本少年	8/9(日) ~8/14(金)	神奈川 県
								1	水戸市長旗東 日本少年	未定	茨城県
文部科学大臣杯 第18回全日本少年春季軟式野 球大会 名鉄観光トーナメント	南	後 志	黒松内町 蘭越町	9/19(土) ~9/21(月)	9/8 (火)	8/5 (水)	南優勝	※ 第17回少年春 季大会	3/20(金) ~3/25(水)	岡山県	
	北	富良野	富良野市	9/5(土) ~9/7(月)	8/25 (火)	7/29 (水)	北優勝				
NPBガールズトーナメント2026		十 勝	帯広市	6/27(土) ~6/28(日)	6/16 (火)	6/17 (水)	優勝	1	NPBガールズ	8/21(金) ~8/27(木)	滋賀県
第11回全日本中学女子軟式野球大 会		十 勝	帯広市	6/27(土) ~6/28(日)	6/16 (火)	6/17 (水)	優勝	1	全日本中学女 子	8/20(木) ~8/26(水)	京都府
第10回全日本シニア軟式野 球大会	南	北空知	滝川市 深川市	8/22(土) ~8/23(日)	8/4 (火)	8/5 (水)	南・北 優勝	※ 第9回大会	5/23(土) ~5/26(火)	埼玉県	
	北	根 室	根室市	9/19(土) ~9/20(日)	9/8 (火)	9/9 (水)	南・北 準優勝				
<共催大会> 第47回スタイルヒン杯(全道スポー ツ少年団交流大会)		旭 川	旭川市	7/18(土) ~7/20(月)	未定	未定	優勝	1	全国スポーツ 少年団交流大 会	未定	岩手県

※印は、前年度決定の北海道大会代表チームが出場する全国大会

※学童、少年大会は、宿泊手配の関係から1か月前に支部名で抽選を行う。